

ニュースレター

発行者
キリスト教礼拝音楽学会
〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-48-12-501
TEL/FAX 03-3721-0891
発行日 / 2014年4月1日

キリスト教礼拝音楽学会 第14回大会案内

- ★テーマ：北海道とキリスト教音楽
- ★日時：2014年5月31日(土) 10:00-16:30
- ★会場：日本キリスト教団札幌北光教会
〒060-0042 札幌市中央区大通西1-14
連絡先携帯 090-4223-0805 (手代木)
- ★主催：キリスト教礼拝音楽学会
- ★会費：会 員 ¥3,000 / 非会員 ¥1,000



●交通機関
 『地下鉄』…南北線、東西線、東豊線
 各大通駅下車し出口26番
 『中央バス』…南1条西3丁目、南1条西1丁目などで下車後、テレビ塔を指し徒歩5分

*昼食ご希望の方(実費をご負担)は、まとめて注文いたしますので大会申込書にご記入ください。

●プログラム

9:30 -	受付	総合司会	伊東辰彦
10:00 - 10:05	開会挨拶	会長	金澤正剛
10:05 - 11:00	基調講演 「北海道とキリスト教音楽」 前川公美夫(音楽史研究家、元北海道新聞記者)		
11:00 - 11:15	休憩		
11:15 - 12:00	講演と演奏 「礼拝におけるオルガン奏楽の可能性」	……	安積道也
12:00 - 13:00	昼食会、自由行動		
13:00 - 13:30	総会		
13:30 - 14:30	リードオルガン見学		
14:30 - 14:45	休憩		
14:45 - 16:30	シンポジウム 雨貝尚子(声楽家、北海道教育大学名誉教授) 真部武弘(作曲家、札幌バプテスト教会ユースクワイア指揮者) 日笠山吉之(当学会員) 植木紀夫(当学会員)	(司会)	伊東辰彦
16:30	閉会挨拶	……	金澤正剛

参加申込：5月16日(金)締切・厳守

大会案内の申込書に記入し、下記宛、郵送で、お申し込みください。
多くの方のご参加をお待ちいたしております。参加費は郵便振替口座(キリスト教礼拝音楽学会 02240-3-46335)に大会費と明記し、お振込みください。(昼食代は当日お願いいたします。)

申込先：〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-48-12-501 手代木方 キリスト教礼拝音楽学会大会係
Tel: 03-3721-0891 (手代木) E-mail: gammo@ka2.so-net.ne.jp

特別寄稿

キリスト教と音楽・芸術の北都・札幌への誘い

——第14回キリスト教礼拝音楽学会大会に寄せて——

高橋 一

札幌市教育委員会が編集・刊行している「さっぽろ文庫」という全100巻のシリーズがある。第1巻の『札幌地名考』(1977年)から始まり、第100巻の『北都、その未来』(2002年)で完結している。実に25年をかけて完結させた札幌歴史物語である。この中に『札幌とキリスト教』(1987年)と『札幌と音楽』(1991年)の巻がある。さらに『歌の中の札幌』(1997年)もある。この中には、札幌冬季オリンピックで歌われた「虹と雪のバラード」や、青春期を札幌で過ごした中島みゆきさんなどの歌も紹介されている。

このたび2014年度のキリスト教礼拝音楽学会第14回大会をはじめて札幌で開催するにあたり、当学会理事の伊東辰彦氏と植木紀夫氏と交わりがあり、さらには佐々木しのぶ氏ともお目にかかる機会を与えられた札幌出身の筆者(音楽的素養に乏しい者だが、牧師でもあったので、讚美歌だけはよく歌った)が、学会諸氏に向けて、札幌の地への誘いを兼ねた本稿の責を負うことになった。

実は大会会場には、北海道に二校あるプロテスタント・キリスト教主義大学の一つである北星学園大学を内々に予定していた。が、北星学園大学が現在大規模な校舎の建築中で、すべての学会会場使用をお断りしているとの事情から、急きょ大通り公園の札幌テレビ塔の真南という市の中心部に位置し、札幌を代表するプロテスタント教会の一つである日本キリスト教団・札幌北光教会(1895年設立の旧・札幌組合基督教会)の大きな会堂をお借りすることになった。これはほんとうに感謝である。本会堂には最近大規模な改修を行い、コンサートなどでも使用され

るパイプオルガンも設置されている。このために尽力くださった札幌北光教会の後宮敬爾牧師にあらためてお礼申し上げたい(残念ながら後宮牧師は、本年10月より東京の霊南坂教会主任牧師として転任の予定である。この教会はキリスト教音楽に関係の深い大中恩氏や作家の阪田寛夫氏などの作品でもよく知られている)。

以下、非力ながら上述の著作などを繙き、北都・札幌のキリスト教と芸術の香りを、札幌大会へのお誘いとして紙面でほんの少しでも事前にお届けできたらと願っている(ただし札幌ラーメンの香りだけは、現地で味わってくださいね[笑])。

さて、本大会での講演者として予定されている前川公美夫氏には、『響け「時計台の鐘」』(亜璃西社、2001年)という著作がある。「時計台の鐘」という名曲の誕生を追ったノンフィクション・ストーリーの労作である。筆者も一読し、初めて知るところが多かった。前川氏は上記の『札幌と音楽』にも寄稿されているので、本大会では札幌音楽史について貴重なお話が聞けることと筆者も今からたいへん楽しみにしている。

札幌と音楽と言えば、今では何と言ってもPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)の毎年7月の開催がよく知られている。世界中から音楽を志す若者が爽やかな初夏の札幌に集うこの国際教育音楽祭は、1990年にレナード・バーンスタインの提唱によって実現した。その演奏会場となる札幌芸術の森や札幌コンサートホールKitaraも、今では札幌の音楽と芸術の一つの象徴ともなっている(Kitaraに

はすばらしいパイプオルガンも設置されていて、定期的にコンサートが開かれている)。筆者もある年、札幌芸術の森 PMF 野外コンサート会場で、伊東氏と共に芝生に座って多くの聴衆に混じってオーケストラ演奏を聴いた思い出がある。北の光に溢れた青空と緑陰と音楽のハーモニーは今も忘れがたい。

ところでキリスト教との関連で言えば、札幌はキリスト教ととりわけ親和性の強い街として認知されているようだ。「日本の他の都市と比較するとき、札幌はキリスト教的雰囲気のある町であった。町の中心部にはキリスト教諸教会があり、近接しては〈キリスト教的〉といわれる札幌農学校があった」(「草創期の札幌とキリスト教」、大山綱夫、『札幌とキリスト教』所収)からであろうか。今でも市内中心部には、日本キリスト教会・札幌北一条教会や、石山の軟石で作られ国の登録有形文化財として指定された日本キリスト教団・札幌教会がある。カトリック教会やロシア正教会の会堂もある。さらには無教会派の札幌独立キリスト教会は珍しく会堂を有している。札幌郊外の住宅地・真駒内には、その昔お雇い外国人としてここで牧畜を伝授し、その名残とも言えるニューイングランド風の白い木造家屋も残されている(今はエドウィン・ダン記念館となっている)。内村鑑三、新渡戸稲造など、近代日本を代表する明治期の日本人キリスト者たちも、その多感な青年期を札幌で過ごした史実はよく知られていよう。若き日の有島武郎も札幌にいた。クラーク博士の胸像は今も北海道大学構内にある。戦後では、北海道旭川にある三浦綾子記念文学館で知られる三浦綾子さんの、札幌を舞台にした幾多のキリスト教文学作品の存在も、キリスト教との親和性に一役買っているかもしれない。

ちなみに札幌には、キリスト教画家として知られる故・田中忠雄氏の油絵の原画も少なからず各所に残されている。また、小樽から近い余市町で、有機栽培の果樹園を営農しながら宮沢賢治に惹かれて北海道農民管弦楽団を設立し、今年 Kitara で創立 20 周年の演奏会を成功させたキリスト者の牧野時夫氏(元

北海道大学交響楽団コンサートマスター)もいる。こうしてみると札幌は、キリスト教音楽だけでなく、キリスト教芸術一般に歴史的・風土的な共鳴性を持った都市なのかもしれない。

自身もパイプオルガンを演奏し、戦後日本のキリスト教思想界に大きな影響を与えた哲学者の森有正氏も、かつて北海道大学クラーク会館と北星学園大学の礼拝堂でパイプオルガンをたびたび演奏したという。その演奏は、今も CD として遺されている。

第 14 回キリスト教礼拝音楽学会大会をライラックの花が咲く 5 月の札幌で開催するにあたり、学会の盛会と共に、遠方からの学会員諸氏が、この分野に関心を抱いている札幌のオルガニストやキリスト教音楽愛好家ともよき交わりを与えられる機会となることを祈りたい。

(前酪農学園大学教授)



写真：日本キリスト教団札幌北光教会ホームページより

★役員会報告

①日 時：2013年11月17日(木) 14:00-15:10
場 所：奏奏かなで(池袋：東京芸術劇場2F)
出席者：赤井、伊東、植木、金澤、塩谷、手代木
議 題：学会誌、ニュースレター、第14回大会について

②日 時：2014年3月9日(日) 14:00-15:00
場 所：奏奏かなで(池袋：東京芸術劇場2F)
出席者：赤井、伊東、植木、佐々木、手代木
議 題：大会企画の詳細・・・会場、プログラム、
パネリスト
・大会案内ニュースレター、学会誌

★学会誌発行予定

第13号 学会誌・・・4月半ば刊行予定

内容・巻頭言・・・金澤正剛
・論 文・・・手代木俊一
鈴木治
佐々木悠
・書 評・・・長畑俊道
・第13回大会プログラム・報告・・・伊東辰彦

★会員出版物の案内

募集

*編集委員会より会員の新刊行物を掲載し、皆様にご紹介したいと思います。
編集委員(手代木、佐々木宛)までお知らせください。

★会費納入のお願い

会の運営に対して、いつも支援をいただき感謝申し上げます。2014年度会費、また、2013年度の会費をまだ納入されていない方は、ぜひ下記の口座にお振込ください。よろしくお願いいたします。

キリスト教礼拝音楽学会

郵便振替口座 02240-3-46335

入会金：3,000円(入会時のみ)

年会費：正 会 員 6,000円

準 会 員 3,000円

賛助会員 20,000円

- 振込用紙には* ____年度/正・準・賛助会員/会費 _____を必ず明記ください。
- 住所変更等も、お知らせください。
- 会費納入についてご不明なことがございましたら、下記にご連絡をお願い申し上げます。

会計担当 佐々木しのぶ

〒980-0023 仙台市青葉区北目町6-6-1401

TEL/FAX 022-262-6565

Email:sshinobuorg@ybb.ne.jp

